



看護大FD通信

第7号

2023年度

目次

巻頭言 「FD通信第7号発行に寄せて」	1
FD研修レポート「DXの基礎知識と看護教育への活用」	1
FD研修からの学び	2
授業公開	2
学務システムを用いた授業アンケートの取り組み	2

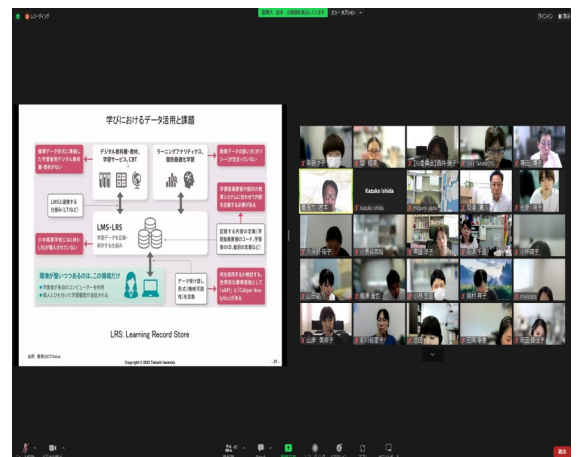
巻頭言「FD通信第7号発行に寄せて」 委員長 谷本 千恵 (地域生活看護学領域 精神看護学 教授)

本学では、教員の資質と能力向上を目指すFD(Faculty Development)委員会が中心となり、教育の質向上に向けて努力しています。この取り組みの一環として、毎年1回FD通信を発行しています。この通信では、私たちの活動や取り組みを皆様にお知らせし、本号では特に「FD研修会」と「授業公開(教員相互の授業参観)」に焦点を当ててご報告します。「FD研修会」は、8月25日に「DXの基礎知識と看護教育への活用」に関するオンライン研修を実施しました。また、「授業公開」は、10月16日から11月10日の期間に実施しました。さらに、3月には、本学の強みと魅力について教職員全体でアイデアを出し合い、共有する会を企画しております。このような取り組みを通じて、私たちはより良い教育環境を提供することを目指しています。今後も、ご理解とご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



FD研修レポート「DXの基礎知識と看護教育への活用」

近年教育におけるデジタル化が推進されている中、8月に慶應義塾大学大学院の岩本隆先生をオンラインでお招きし、DX(Digital Transformation)に関する基礎知識や看護教育への活用の実際を学ぶための研修会を開催しました。研修会ではDXに関わる社会の動きや今後の見通しなど、DXについて基礎的なところからわかりやすくご教授いただきました。また、看護教育におけるVR/ARを活用した先駆的取り組み事例などもご紹介いただきました。参加した教員からは「聞きなれない用語も丁寧に説明して下さったことで、概要を知ることができた」「刺激を受けた」「DXの活用については引き続き学びたい」などの感想が聞かれました。アンケートの結果から有意義な研修であったと回答した参加者が多く、DXの基礎知識と関心を高めるための有意義な学びの機会となりました。





FD研修からの学び

「DXの基礎知識と看護教育への活用」からの学び

樺澤三奈子(臨床看護学領域 成人看護学 准教授)

心に残った学びは、「教育DXで重要なことは、人が手がけることは何か、船がどのような教育を以てどここの岸に辿り着こうとするのかを定義すること」でした。折しも本学では新カリキュラムが開始され、学生の能動的な学びをさらに促進する方向へと舵が切られました。コロナ禍以来、本学教員はICTを活用した教育改革の努力を重ねていますが、併行して、大学の独自性を打ち出すためにも領域横断“変革”が必要なのだと思いました。知識と技術の獲得を促すならば学生の能動性を高める学習経験に基づくフィードバックシステムを活用したいな、看護専門職としての態度の醸成やケアを導く統合力の育成は教員が丁寧に手がけたいことだな、など夢が広がるひと時でした。



授業公開

本学では令和4年度から教員の授業能力向上に向けた新たな試みとして、教員相互で授業参観を行う「授業公開」という取り組みをスタートさせています。今年度は公開する科目を15科目45コマに増やし、教員が幅広い科目をより自由に選択できるよう企画しました。参観した教員からは「聞きたいと思っていた先生の授業を受講できた」「授業改善の具体的なヒントが得られた」「授業改善の動機付けが得られた」などの意見が聞かれ、自身の授業内容や方法を見直すための機会となりました。今後も引き続き、FD委員会を中心に教員の授業能力向上に向けた取り組みを推進して参りたいと思います。



学務システムを用いた授業アンケートの取り組み

今年度から学務システム(学内専用のwebシステム)を用いた授業評価アンケートが開始されました。本学では授業改善ならびに教育の質の向上に資することを目的に「学生による授業評価」を前学期、後学期1回ずつ年2回全科目で実施しています。その結果は集計後グラフ化し、自由記述とともに教員へフィードバックされています。教員は、アンケートの結果を参考に次年度の授業について考え、改善に役立てています。今後も「学生による授業評価」を効果的に推進し、教育の一層の充実を図っていきたいと考えています。

編集後記

本学ではFD委員会を中心に質の高い大学教育に向けた取り組み(FD活動)を行っています。第7号は令和5年度のFD活動を中心に内容を構成しました。FD通信についてのご意見やご感想、ご要望等がございましたら、ぜひ下記までお寄せください。

✉fd@niigata-cn.ac.jp

(久保野)

- ◆発行日 令和6年 3月 8日
- ◆編集・発行 新潟県立看護大学FD委員会
(谷本千恵・酒井禎子・石原千晶・
関睦美・久保野裕子・山崎明彦)